

# RAIS<sup>®</sup>

ART  OF FIRE

## RAIS 500

取扱説明書





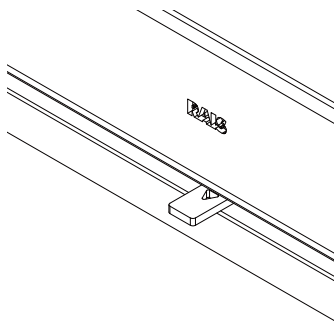
Produced at: RAIS A/S, Industrivej 20, 9900 Frederikshavn, Danmark		rk
EN 13229:2001+A2:2004 EC.NO: 511	12	Raumheizer für feste Brennstoffe Appliance fired by wood Poêle pour combustibles solides
RAIS 500 1G / 1SG / 2G / 2SG / 3G / 3SG		
Anordningen må kun installeres i forbindelse med ubrændbart materiale.		
AFSTAND TIL BRÆNDBART, BAGVÆG ABSTAND ZU BRENNBAREN BAUTEILEN, HINTEN DISTANCE TO COMBUSTIBLE BACK WALL DIST. ENTRE COMPOSANTS COMBUSTIBLES, ARRIÈRE	AFSTAND TIL BRÆNDBART, SIDEVÆG ABSTAND ZU BRENNBAREN BAUTEILEN, SEITE DISTANCE TO COMBUSTIBLE SIDE WALL DISTANCE ENTRE COMPOSANTS COMBUSTIBLES, CÔTÉ	AFSTAND TIL BRÆNDBART, MØBLERING ABSTAND VORNE ZU BRENNBAREN MÖBELN DISTANCE TO FURNITURE AT THE FRONT DISTANCE ENTRE COMPOSANTS COMBUSTIBLES, DEVANT
CO EMISSION CO EMISSION IN DEN VERBRENNINGSPRODUKTEN EMISSION OF CO IN COMBUSTION PRODUCTS EMISSION CO DANS LES PRODUITS COMBUSTIBLES	STØV / STAUH / DUST / POUSSIÈRES:	RØGGASTEMPERATUR / ABGASTEMPERATUR / FLUE GAS TEMPERATURE / TEMPERATURE DES GAZ DE FUMÉE
NOMINEL EFFEKT / HEIZLEISTUNG / THERMAL OUTPUT / PUISSANCE CALORIFIQUE: VIRKNINGSGRAD / ENERGIEEFFIZIENZ / ENERGY EFFICIENCY / EFFICACITÉ ÉNERGÉTIQUE:	DK: Brug kun anbefalede brændsler. Følg instruksens manualen. Anordningen er egnet til røggassamledning i brugeren og intervallyfyring.	DE: Lesen und befolgen Sie die Bedienungsanleitung. Zeitbrandfeuerstätte. Nur empfohlene Brennstoffe einsetzen.
UK: Fuel types (only recommended). Follow the installation and operating instruction manual. Intermittent operation.	F: Veuillez lire et observer les instructions du mode d'emploi. Foyer à durée de combustion limitée, homologué pour connexions multiples. Utiliser seulement les combustibles recommandés.	Hergestell für /Produced for: ATTIKA FEUER AG, Brunnmatt 16, CH-6330 Cham / RAIS A/S, Industrivej 20, DK-9900 Frederikshavn
	15a B-VG VKF-NR: XXXXX Bauart: 2	

# 環境にやさしい火

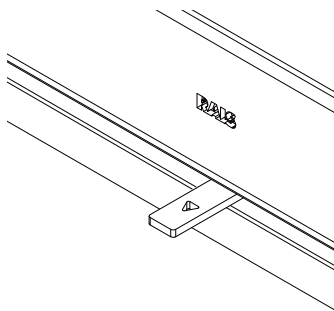
賢く焚くための5つのアドバイス: 経済性と環境を考慮した常識

1. 効果的な着火には、細い薪と着火材を利用してください。エアコントロールレバーを開きます。これはストーブにたっぷりと空気を送りこんで、薪の燃焼から発生したガスが素早く燃やすためです。
2. 一度にたくさんの薪をくべないようにすると、理想的な燃焼が得られます。新しく薪をくべたときは、必ず空気が行き渡るように、すき間を空けるように置きます。
3. 炎が消えたら、エアコントロールレバーを調整して、給気量を減らします。
4. 赤く輝く熾き火だけが残ったときは、給気量をさらに減らして大丈夫です。
5. よく乾燥させた薪以外は焚かないでください。薪の水分含有量は15~22%が適正です。

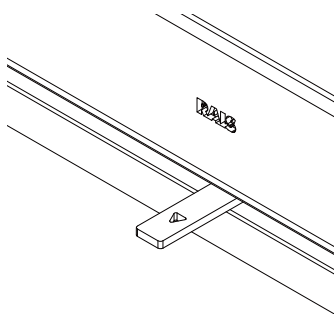
## 使用方法



ポジション 1

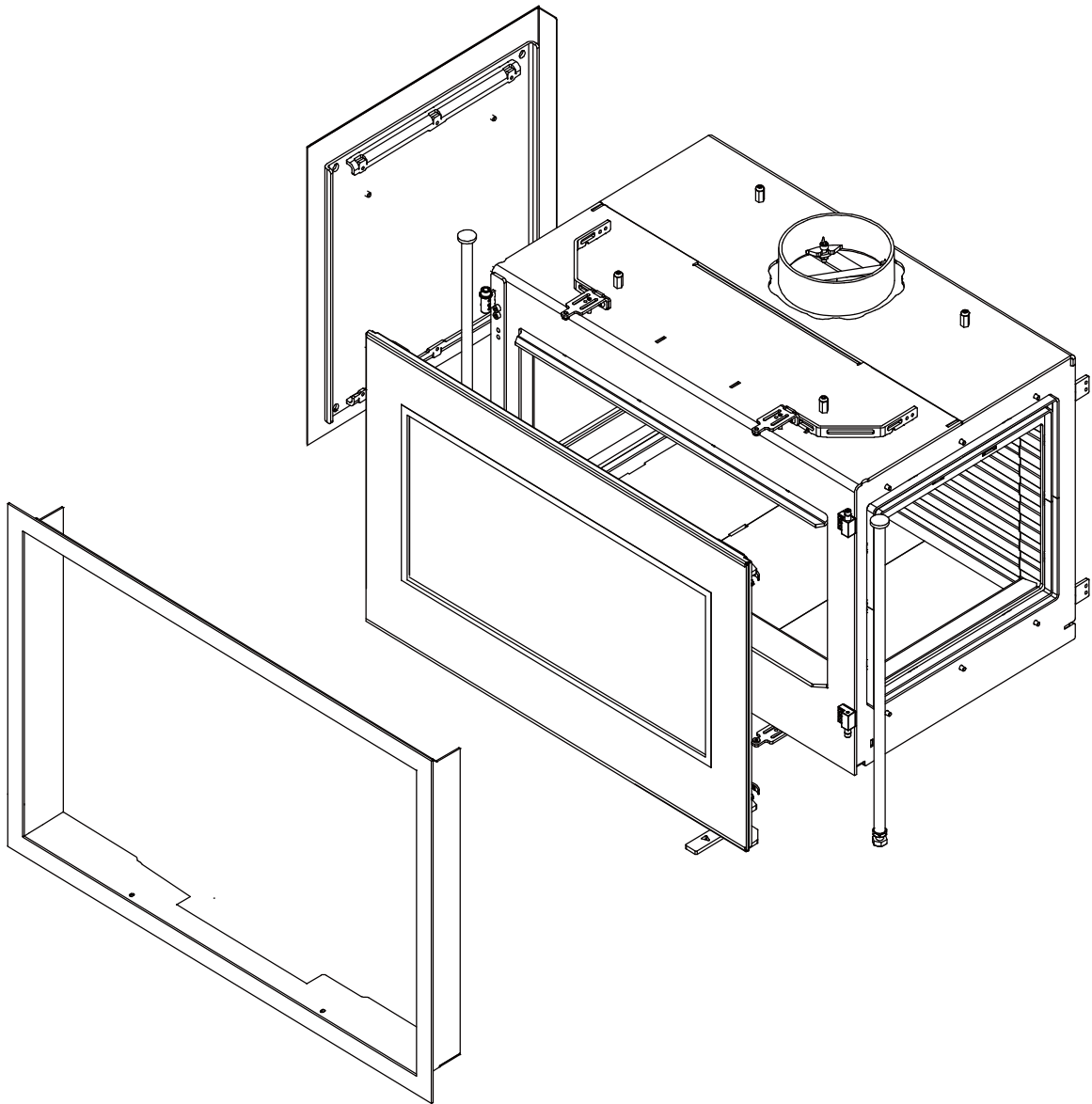


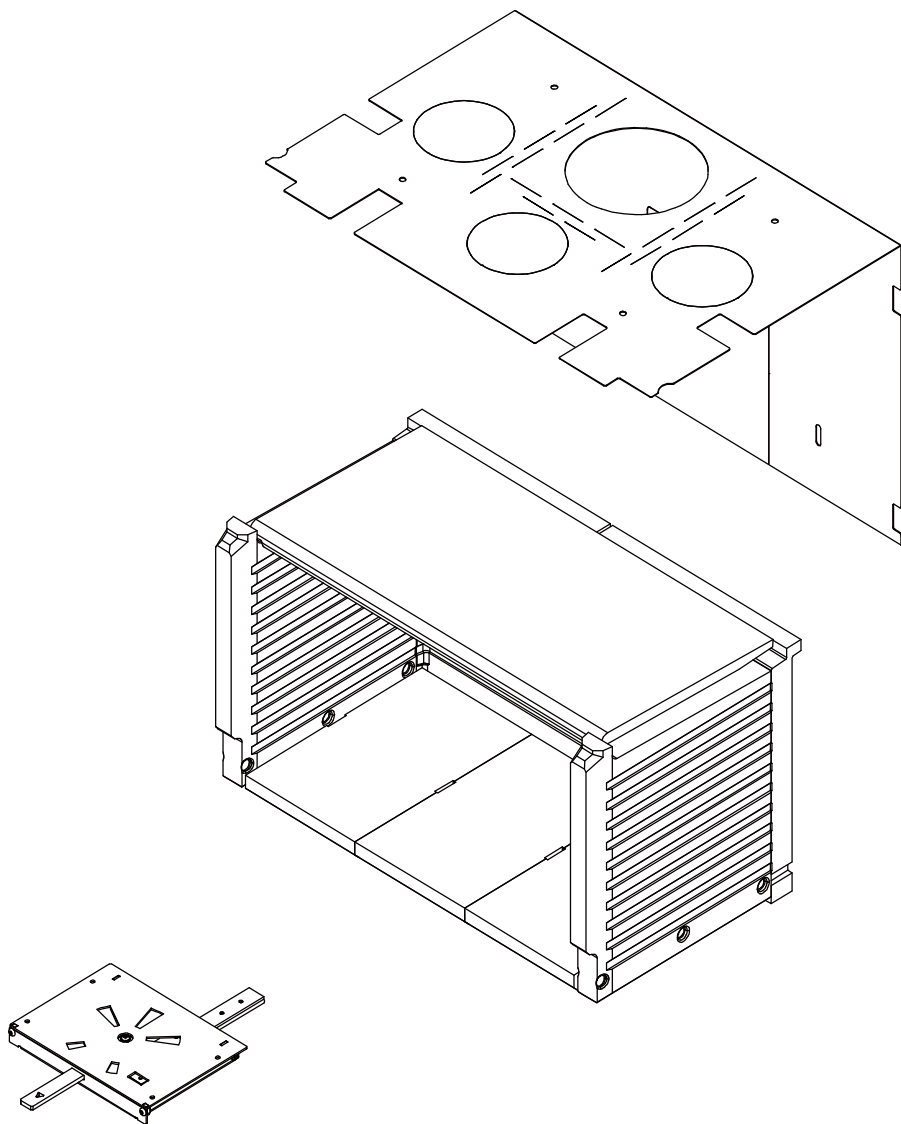
ポジション 2



ポジション 3

パーツ









## RAIS 500

### 目 次

はじめに .....	8
保証 .....	9
仕様 .....	10
据え付けに関する指示 .....	11
コンベクション（対流） .....	12
煙突 .....	12
送風—暖まった空気を別の部屋へ転送できる インサートの取り付け方法 .....	14
エアシステム .....	15
据え付け .....	16
壁が可燃性の場合の据え付け距離 .....	22
据え付けをする人への指示 .....	22
燃料 .....	23
薪の乾燥と保管 .....	24
燃焼空気の制御 .....	24
室内の換気とストーブ .....	25
薪ストーブの使い方 .....	25
コントロール .....	25
初めて焚くとき .....	26
点火と薪の補給 .....	27
掃除と手入れ .....	29
燃焼室の掃除 .....	29

## はじめに

ライス薪ストーブをお買い上げいただき、ありがとうございます。このストーブは、断続的な運転ができる、薪専用のストーブで、HETAS社の認定を受けています（HETASは、固形燃料焚きストーブなどに関する政府公認の認定機関です）。ライス薪ストーブはただの熱源ではありません。持ち主がデザインや品質にまで配慮していることがわかるストーブです。

この薪ストーブを最大限にご利用いただくためには、据え付けや運転を始める前に、この取り扱い説明書を最後まで読み通していただくことが大切です。



## 保証

ライスの薪ストーブは、安全性と材質・製造のクオリティー（質）の観点から、繰り返しテストを経てきたものです。全機種について、据え付け当日から2年間の保証をいたします。

保証でカバーされるのは：

- 製造的な誤りによる機能不全（必要書類を提出していただく）。
- 欠陥材質による機能不全（必要書類を提出していただく）。

ただし、以下は、保証の対象になりません：

- ドア・ガラス
- ガasket
- 火室のライニング（裏張り）
- ストーブ表面構造の表面外観
- ステンレススチールの色調の変化や表面的なつやの喪失
- 膨張ノイズ、ストーブが暖まる・冷めるときの音

下記の場合、保証は無効になります：

- 過剰に熱した結果としての損傷
- 外的要因、あるいは不適切な燃料を燃やした結果としての損傷
- 法律で定められた、あるいは当社のガイドラインの指示を守らない据え付けや改造がされていた場合
- サービスや手入れに関する規定を守っていただけなかった場合

損傷が起きた場合は、お買い求めの販売店に連絡してください。

## 仕 様

	RAIS 500
Nominell output (kW):	6
Min./Max. output(kW):	4-8
Heating area (m <sup>2</sup> ):	ca. 60-120
Stove's width/depth/height (mm):	708-452-474
Combustion chamber's width/depth/height (mm):	556-306-295
Recommended amount of wood when fuelling (kg): (Distributed on 2-3 logs of wood approx. 25 cm)	1,8
Min. uptake (Pascal):	-12
Weight (kg):	110
Efficiency (%):	80
CO-emission at 13% O <sub>2</sub> (%)	0,06
NOx-emission at 13% O <sub>2</sub> (mg/Nm <sup>3</sup> ):	41
Particles after NS3058/3059 (g/kg):	1,8
Dust measured according to Din+(mg/Nm <sup>3</sup> ):	3
Smoke gas mass flow (g/s):	5,7
Smoke gas temperature (°C) with Nominal output	292
Intermittent operation:	Fuelling should be undertaken within 3 hours.

## ■ 据え付けに関する指示

薪ストーブの安全で適切な据え付け方（「据え付けの基本的原理」）を説明します。現場の条件によっては、多少の修正が必要かもしれませんが、すべての据え付けにおいて、日本の現行建築規制法、地方条例／規制に関する事項は必ず遵守しなければなりません。

### ⚠ 警告

#### 健康や安全に関する助言、通知

本機の据え付けには、法律を遵守する責任があります。特に下記の点については十分に注意を払ってください。

#### ● 取り扱い

ストーブは非常に重いので、荷揚げ、荷下ろし、移動の際には、その重量に十分対処できる施設や設備が必要です。

#### ● 石綿

本機には石綿は使用していません。ストーブの設置場所に石綿があるかもしれないときは、専門家を呼んで、指導を仰ぎ、対策をとってください。

#### ● 金属部品

据え付けやサービスに際しては、怪我をしないように注意してください。

### ⚠ 重要な警告

#### 準備作業と安全チェック

- 接続させる煙突は、このストーブだけが使うものでなければなりません。煙突を別の暖房器具と共有しないでください。
- ストーブを設置する部屋に換気扇があると、ストーブの煙が室内に逆流することがあります。ストーブを使用する時は換気扇を停止してください。
- 既存の煙突に本機をつなぐ場合は、煙突を掃除し、破損がないことを確認して適切な煙突であることを調べます。

## ■ コンベクション(対流)

ライス薪ストーブはコンベクション・ストーブなので、後面と側面は危険なほど極端に熱くはなりません。コンベクションとは対流のことで、対流熱が確実に均一に部屋中に広がるとい意味です。ストーブ下部から取り込まれた冷たい空気は、ストーブ内部を上昇し、燃焼室に沿って走るコンベクションチャンネルを通過します。通過する間に暖められた空気が、ストーブ上部のダクトから室内に放出され、それが、部屋全体をむらなく回る暖かい空気の循環(対流)を作るのです。

## ■ 煙 突

煙突は、ストーブを機能させるための駆動力のようなものです。ストーブの性能を存分に発揮させるには、適切なドラフト(煙突の引きこむ力。14~18Paパスカル)を発生させなければなりません、そのためには、煙突が十分高くなければなりません。ドラフトが起きていれば、燃焼による生成物質を除去でき、ストーブ燃焼中に煙が室内に逆流するトラブルも防げます。

**注記** 正しい煙突の高さは、ストーブの排気口から煙突のてっぺんまで、垂直に測って4.5m以上必要です。特定の設計の煙突が、十分なドラフトを作れるかどうかは、計算でわかります。

煙突トップは、建物の屋根よりも上になければなりません。

既存の煙突を利用してストーブを据え付ける場合、その煙突は、健全で、ひびや裂け目がなく、家の中に煙が入って来ないものでなければなりません。とくに古い建築物には、裂け目やひびがありうるので、専門家を呼んで修理しなければなりません。

既存の煙突にストーブを取り付けるときは、据え付け直前に、煙突が詰まっていないこと、掃除がしてあることを確認してください。ストーブを暖炉のあった場所に取り付けられる場合は、ストーブの取り付けから一ヶ月後に再度煙突をチェックして、詰まっていないか、すすが落ちてないかを調べます。ストーブと暖炉とでは、燃焼の仕方が違うからです。

シングル煙突は、ストーブと煙突の連結部分に使うには適していますが、煙突全体に使うには適していません。煙突および連結管の直径は最低150mm必要です。曲がり部分の角度は、煙突、連結管とも45°以下が理想です。

燃えやすい物を、ファイアブレース、壁、フルー（煙道）を通して熱が発散してくる場所の近くに置かないください。可燃性の物質があるところにこのストーブを取り付けるときは、「可燃壁との離隔距離」を守って据え付けなければなりません。

過剰なドラフトが発生することが判明した煙突では、調整可能なダンパーを取り付けてください。調整可能なダンパーは、煙道を完全に閉じてしまうものではなく、「閉」の位置にしても、煙道やパイプの総断面積の最低20%が開き続けていられるようなものでなければなりません。

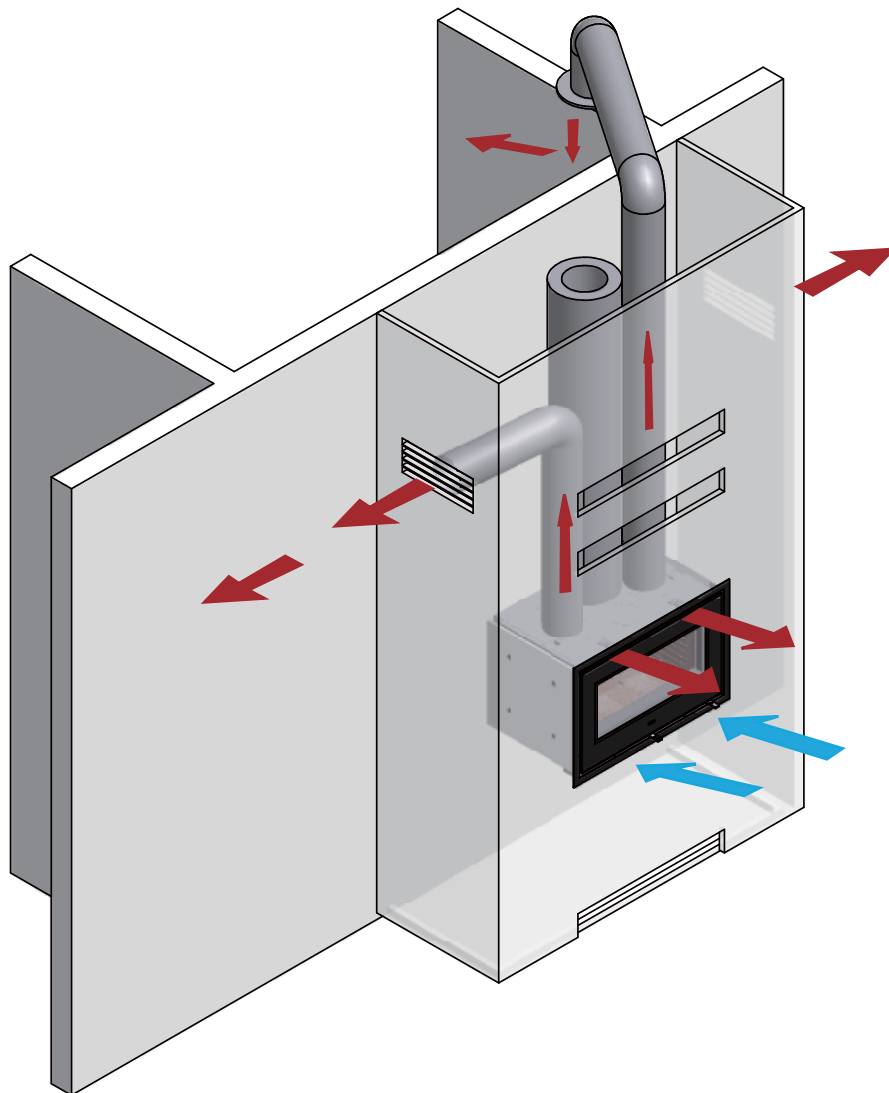
煙突や連結管を掃除するときのために、例えば煤掃除などのメンテナンス用の点検ドアも整えてください。

また、煙道が二つある煙突のドラフト状態についても、精通しておいください。

煙道出口の差し込み口の直径は150mmです。

## ■ 送風 — 暖まった空気を別の部屋へ転送できるインサートの取り付け方法

ストーブには4つの対流空気出口が付いているので、適切な通風ダクトを使うと、ほかの部屋に暖かい空気を送ることができます。



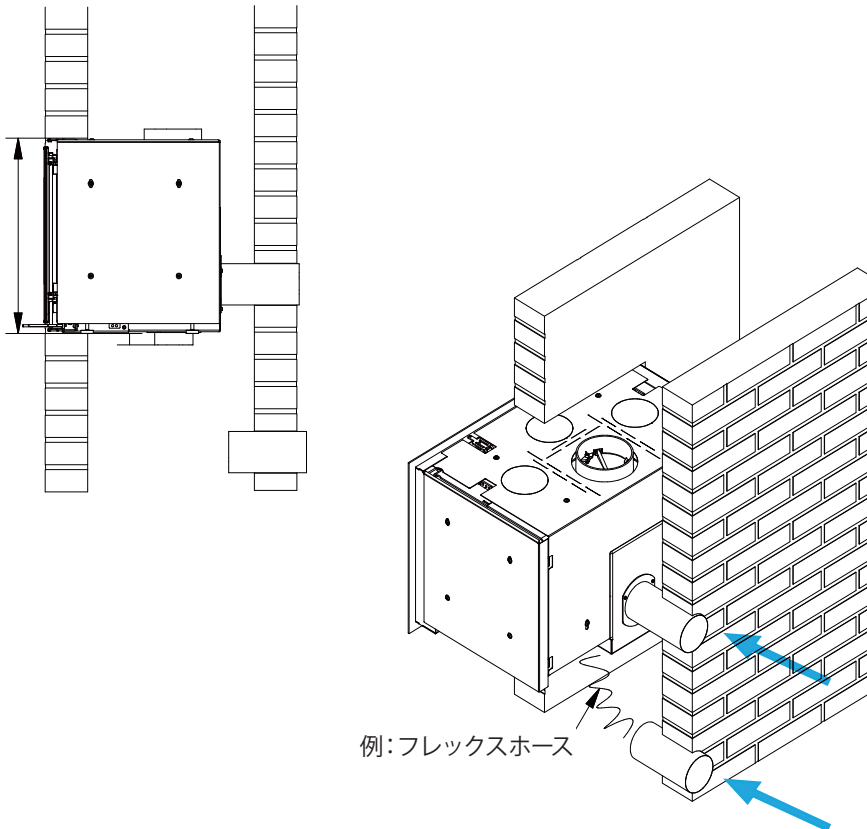
## ■ エアシステム

エアシステムを取り付けるときは、エアコントロール システムが外気を取り込めるようにしておかなければなりません。

エアシステムが確実に働くためには、室内に真空があってははいけません。

エア・コネクションは、火室の後部か下部に取り付けられます。

**注意** エアボックスをストーブの下部に取り付けると、全体の高さが増します。



## ■ 据え付け

ストーブに、認可されていない改造を施すことは法律で禁止されています。

ストーブがきちんと燃焼するためには、ストーブを設置する部屋に空気がたっぷり必要です。同じ部屋に機械的な排気装置（例えばキッチンの排気フードなど）があると、ストーブの空気供給が減ってしまいます。空気口を取り付けるときは、ストーブへの給気が損なわれないような位置を選んで取り付けてください。

このストーブには4つの対流空気の出口が装備されています。これに適切な通風ダクトをつなげれば、暖かい空気を別の部屋に送ることもできます。

床は、薪ストーブの重量や、場合によっては煙突の重さをも支えきれぬ構造でなければなりません。

ライスの薪ストーブの設置場所を選ぶ時は、別の部屋にも暖かさを回せるかどうか配慮すると、ストーブを最高に有効活用できます。ストーブは可燃壁と安全な離隔距離をとって据え付けてください。

## ストーブの据え付け

**注記** コンベクション(対流)・システムの吸い込み口、吐き出し口の位置を決めなければなりません。吸込み口に関する周辺条件を満たさなければなりません。



ストーブをパレットから持ち上げ、据え付け場所に運びます。このとき、据え付け場所には予め防火などのための保護を施しておいてください。ストーブはラックと調整可能な脚部の上に設置することもできます。

ストーブはガラスドアの低い辺が水平になり、ドアを締めるときにドア表面が垂直になるよう、調整ネジで合わせます。

フロントパネルとドアをストーブからはずします。ドアのガラスを傷つけないように気をつけてください。塗装してあるストーブ本体に、セメントや塗料の噴霧がかからないように保護してください。

非断熱性のフルーパイプを燃焼室内の煙道の出口に取り付けます。フルーパイプとストーブの間に隙間がないことが重要です。適切なガスケットか化合物で連結部を密封することをお勧めします。

断熱フルーパイプを煙突に連結します。

外気取り込み用の連結をシステムの取り付けを選択したのであれば、この段階でパイプを取り付けてください。

コンベクション・システムの出口にパイプを据え付けるのであれば、次の手順に進む前に、行ってください。

ストーブはパネル壁あるいはレンガ壁のいずれにも組み込む準備ができました。

壁を作り、塗装を施した後、フロントパネル(正面)とカバーを再び取り付けします。保護材やテープはすべて取り除いてください。

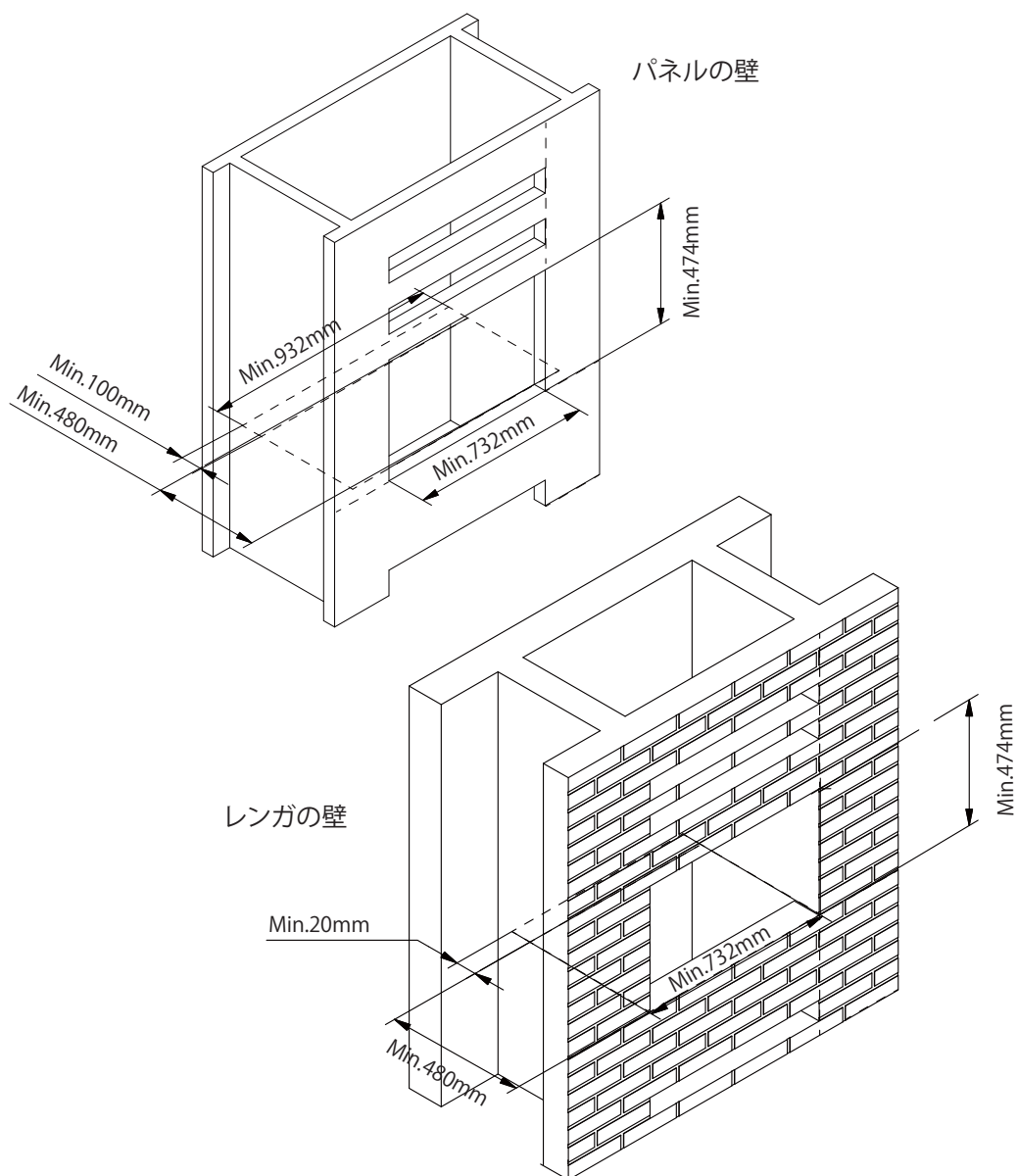
## 設置寸法

ホール測定(高さ×幅) min. 474 x 732 mm

max. 494 x 752 mm

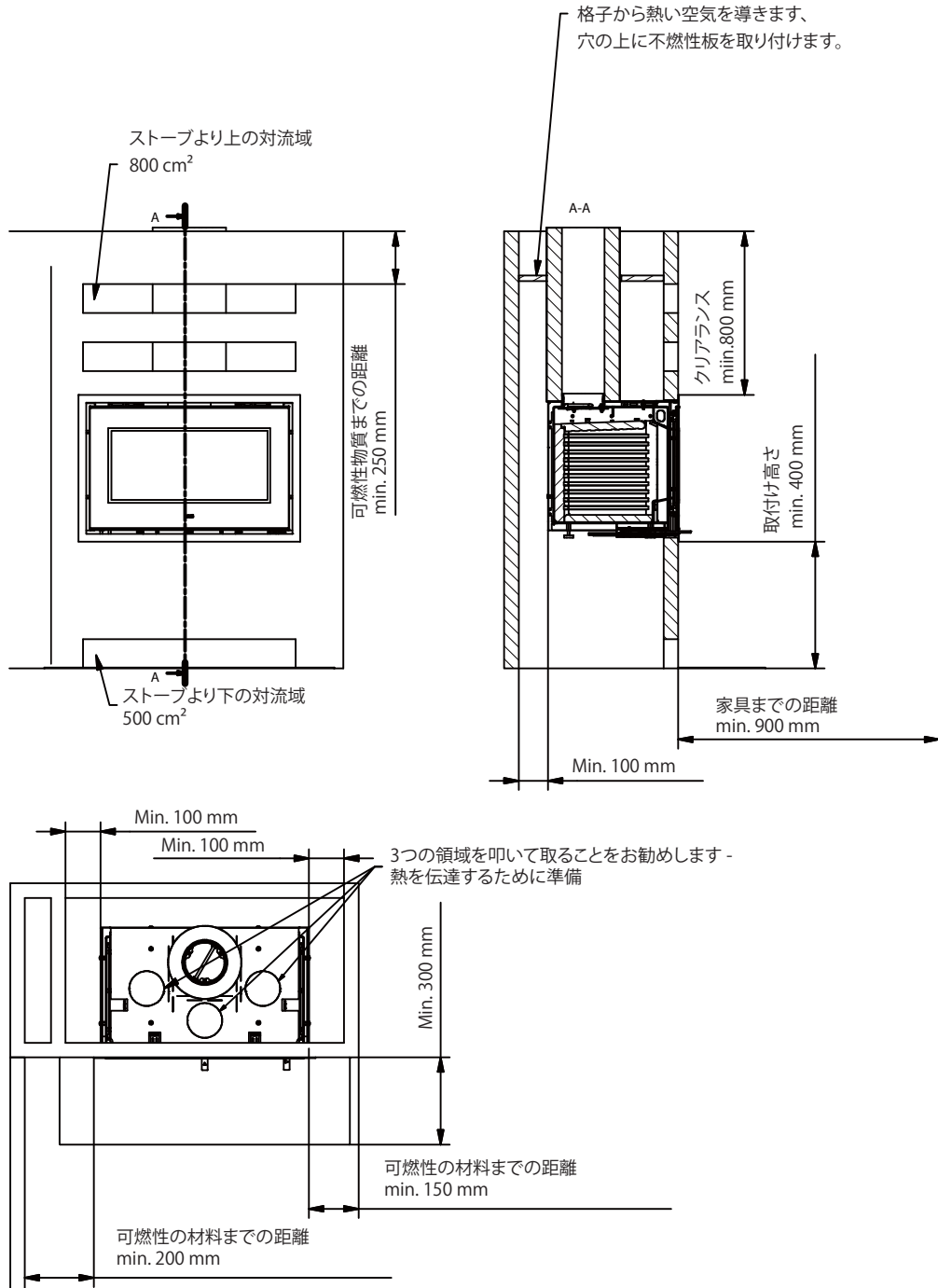
ストーブをしっかりとフィットさせません。

熱されるとき、鋼は膨張します。

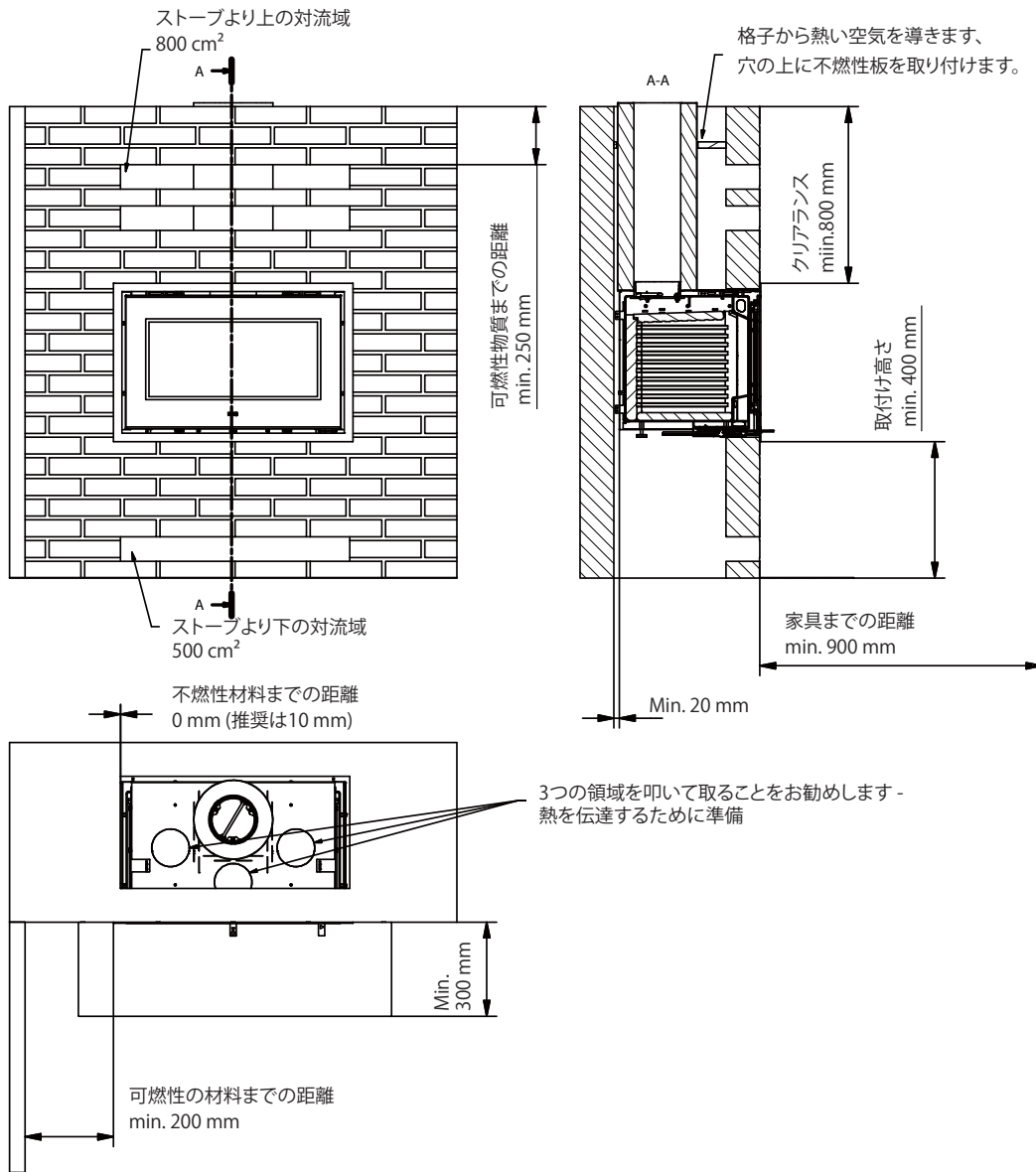




距離—不燃性材料



# 距離—レンガ



## ■壁が可燃性の場合の据え付け距離

ストーブ設置場所の脇の壁材が可燃性物質かどうかについては、建築施工主や役所に問い合わせ、確かめてください。

ハース(炉辺)は、ストーブの重量に耐えられなければなりません。また、煙突の支えは、ストーブを支えるものとは別のもの(ウォールブラケットや天井サポート板など)で支えなければなりません。ストーブの重量は仕様に記載してあります。

ストーブを木の床に設置する場合は、非可燃性の素材で床をカバーしなければなりません。

### 据え付けをする人への指示

据え付けが完了すると、いよいよ初焚きをすることになりますが、その前に、組み立てや据え付けが満足に行われたか、密閉部分や連結部分に漏れがないかなど、確認しなければならないことがあります。

ユーザーにストーブを最終的に引き渡す前に、ストーブや煙突が正しく機能しているか、確認してください。必要であれば、初焚きの手引き(本マニュアルの後方にあります)を読んでください。

ユーザーに、「ストーブの試験調整が完了したので、使用できる状態になった」ことを告げたら、ストーブの安全運転の仕方を教えましょう。

こうした情報はユーザーに手渡して、それを安全な場所に保管しておくよう伝えます。

## ■ 燃料

このストーブは、乾燥させ、割ったカバノキに関する規格「EN 13240およびNS 3058」に従ってテストされ、広葉樹／針葉樹の薪に対して認可されています。薪の水分含有量は15～22%以下でなければならず、薪の最長は、燃焼室の幅から50～60mmマイナスした数字です。

湿った薪を焚くと、煤や環境公害物質が発生するだけでなく、燃料が不経済になります。切りたての木はその50～70%が水分なので、ストーブで焚くにはふさわしくありません。新しく伐採した木は、1年間乾燥させてから使ってください。直径が100mm以上の木は割って使います。薪のサイズにかかわらず、薪は常に皮のついていない面が最低1面は必要です。

塗料を塗った木、ラミネート加工した木、防水剤などを注入した木、表面が合成物質の木、塗装された廃材、木くずから作った板、ベニヤ板、家庭ゴミ、ペーパーブリケット、坑口炭は焚かないでください。理由は、強い臭いや毒を発生させるかもしれないからです。

こうした物や、先にお勧めした以上の量の薪をたくと、ストーブは過剰な熱にさらされ、その結果煙突の温度が上がり、効率が低下します。結果的に、ストーブと煙突に損傷が起こりえます。そうすると、保証は無効になってしまいます。

薪のカロリー値は、薪が含む水分量と密接な関係があります。湿った薪は熱価値が低いのです。そのわけは、薪中の水分が多いほど、その水分を蒸発させるためにエネルギーを食われてしまうので、その分、暖房用のエネルギーを損してしまうのです。

## お勧めする燃料以外は使わないでください。

下記の表は薪の木種ごとのカロリー値です。どれも2年間乾燥させたもので、残留水分は15～17%です。

薪	kg乾燥薪/m <sup>3</sup>	ブナやカシとの比較
シデ	640	110%
ブナとカシ	580	100%
トネリコ	570	98%
メープル	540	93%
カバノキ	510	88%
灌木性マツ	480	83%
モミ	390	67%
ポプラ	380	65%

木の種類に関係なく、1 kgの木からは同量の熱エネルギーが発生します。違うのは、1 kgのカバノキは1kgのモミノキよりもスペースをとらないということです。

## ■薪の乾燥と保管

木の乾燥には時間がかかるもので、適切な乾燥には2年ほどかかります。

アドバイス

- 木は鋸で切り、斧で割り、風通しと日当たりの良い場所に積み上げてください。家の南側が特に適しています。雨がかからないようにしてください。
- 薪は、手の幅ほど離して積んでください。こうすることで、空気が薪の間を通れるので、水分をいっしょに運んでいってくれます。
- 積んだ薪にビニールシートなどをかぶせないでください。水分が飛んでいきません。
- 薪は、焚く2・3日前に室内に入れておくと良いでしょう。

## ■燃焼空気の制御

ライスのストーブには、片手の操作でダンパーを調整できるレバーが付いています。

一次燃焼空気は、一次燃焼空気ゾーン（赤く輝く熾き火の床）に送られます。この冷たい空気は、点火段階でのみ使われます。

二次燃焼空気は、ガス燃焼ゾーンに与えられ、高温加熱ガスを燃焼させるのに使われます（高温加熱ガスとは、予熱された空気のこと、ガラス面の掃除と燃焼に使われます）。

二次燃焼空気は、ガス燃焼ゾーンに与えられる空気、高温加熱ガスを燃焼させるのに使われます。（高温加熱ガスとは、予熱された空気のこと、ガラス面の掃除と燃焼に使われます）。この空気は燃焼室の下にあるダンパーから吸い込まれ、火室側面のチャンネルを通過するにつれて加熱され、高温の空気流となってガラスに向かって放出されます。これがガラスについた“煤”などを“食べてしまう”ので、ガラスはすすがれ、いつもクリーンなのです。

三次燃焼チャンネルは、燃焼室上部の奥の方に向かって見えますが、最後まで残ったガス残留物はここで燃焼します。

ポジション1とポジション2のあいだに間（ま）を設けたことで、燃焼用にも、高温加熱ガスの燃焼にも酸素が得られるようになり、薪の持つエネルギーが最も望ましい形で利用されるようになりました。炎が澄んだ黄色であれば、ダンパーは正しくセットされています。使い慣れるにつれ、正しいポジションがわかってくるでしょう。

ダンパーは完全に閉めないようにしてください。よくある間違いとしては、ダンパーを閉めるのが早すぎることです。ストーブが熱くなったと思ってダンパーを閉めてしまうのですが、煙突からは黒煙がのぼっているはずで、薪のカロリーもフルに利用できていません。



## ■ 室内の換気とストーブ

ストーブを据え付けた部屋に、何か強制排気ファン（換気扇や空気清浄機）が設置してあると、ストーブがくすぶって、煙や臭いが部屋に逆流するかもしれません。

ストーブを安全で効果的に運転するためには、絶えず十分な燃焼空気を供給していなければなりません。現行の建築規則により、ストーブを設置する部屋に恒久的な給気装置の設置が定められている国や地域では、そうした装置は絶対に閉めたり塞いだりしてはいけません。

## ■ 薪ストーブの使い方

空気取り込みダンパーの調整は3段階に分けて行います。

### ● ポジション 1

ダンパーはほぼ閉まっています。つまり、最低量の空気しか取り込めません。

### ● ポジション 2

この位置では、二次燃焼空気がフルに取り込めます。通常の焚きでは、このレバーはポジション1か2にセットしておきます。炎が透明で黄色いときは、ダンパーが正しく開いています。つまり、ゆっくりとした最適燃焼状態になっているということです。

### ● ポジション 3

レバーを引くとダンパーが全開し、一次、二次燃焼空気がフルに入ってきます。このポジションは、点火のときだけ使うもので、通常の運転では使いません。

## ■ コントロール

ストーブを焚いた後、灰が白く、火室内の壁にすすが付いていないときは、空気調整が正しく設定され、薪も十分乾いていたということを意味します。

## ■初めて焚くとき

火は小さく起こしましょう。そうすることで、ストーブを徐々に高温に馴らしてあげるのです。これで、最善のスタートが切れ、損傷が起こるのを回避できます。

最初に火を焚いたとき、なじみない臭いや煙が立つのを感じるでしょう。これは無害です。塗料や加熱過程で硬化する物質からのもので、臭いはすぐに消えます。できれば、換気やドラフトを点検してください。いつまでも臭いが続くようであれば、下記の「重要 - 警告」のところをよく読んでください。

このプロセスにおいては、塗装された表面に触れないよう、気を付けてください。ドアのガスケットがくっついてしまわないようにするため、ドアも定間隔で開け閉めしてください。

ストーブが暖まる／冷めていくとき、カチカチカチという音がするかもしれません。これは物質が大きな温度変化を被るときにたてる自然な音です。

点火のときや火を保とうとするとき、絶対に液体燃料を使わないでください。どのような種類のものでもだめです。爆発の危険があります。

ストーブ使用中は高温になるので、ストーブをいじるときは必ず防護手袋をはめてください。

長期間ストーブを使わなかった後に焚くときは、初めて焚くときと同じステップを踏んでください。

### ⚠ 警告!

正しく据え付け、正しく運転・維持していれば、ストーブの中のおいが部屋に漏れてくることはありません。灰を捨てたり、薪を足したりするときには、多少のおいがするかもしれませんが、もしその臭いが長く続くときは、危険なことが起こっているのかもしれないかもしれません。放置せず、すぐに下記の行動をとってください。

1. 部屋のドアや窓を開けて、室内の換気をする。
2. 火を燃え尽きさせるか、燃料を安全にストーブから取り出す。
3. 煙道や煙突が詰まっていないか調べる。必要なら掃除をする。
4. 臭いの原因が明らかになり、きちんと対処し終わるまで、火を焚いてはいけません。必要なら、専門家にアドバイスを求めてください。

### ⚠ 警告!

ストーブが燃えているとき、エアロゾル・スプレーをストーブの上や近くで使ってはいけません。

### ⚠ 重要

#### 安全のために!

子供、高齢者、虚弱な人がいる状況でストーブを使うときは、何かの拍子にストーブに接触することのないよう、金網を使うなどして体制を整えてください。

## ■ 点火と薪の補給

**注記** エアシステムが連結しているときは、弁は開いていなければなりません。

### 焚き付ける前にすること

薪ストーブの近いところにあるドアか窓を開きます。

もしストーブの中が煙で充満した場合、新聞紙をひねって、それを上部バフ板と煙突の間に置き、新聞紙に火をつけ、しばらく待っていると、煙突が暖められます。煙突が暖まることによってドラフトが発生し、室内に煙が戻るものがなくなります。

### 点火は“トップダウン”で。

まず、3～4本の薪(およそ1.5～2kg)を燃焼室の底に置きます。  
約1kgの薪を細く割った焚き付けとアルコールブリケットなど着火剤を1～2個載せ、エアダンパーは全開の状態にセットします。

火をつけ、ドアを閉めますが、このとき、ドアは完全に閉めず、10-15mmほど隙間を開けておいてください。

炎が透明になったら(約5～10分後)、ドアを閉めます。  
ダンパーについては、「ダンパーの調整」をご参照ください。

最後の炎が燃え切ると、赤く輝く熾き火の床ができています。ここで、2～3本の薪をくべます。  
ドアは少し開けておき、火が良く燃えてきたらドアを閉めます。

5分ほどして、炎が透明で安定してきたら、徐々にダンパーを閉めていきます。

**注意** ストーブの火が燃えている間は、ストーブから目を離さないでください。  
ストーブの運転中は、ドアは常に必ず閉めておいてください。

## ⚠ 警告!

薪が、炎や煙を出さずただゆっくりと燃えているときに給気不足が起こると、未燃焼の排ガスが発生します。このガスに点火すると爆発しかねません。そうなる物品の損傷や人身の怪我が起こるかもしれません。ストーブ内に火があるとき、給気を完全にシャットアウトするのは厳禁です。



熾きがごくわずかになってしまったら、もう一度点火作業から始めなければなりません。

そのまま薪を足すと、火がつかず、未燃焼の排出ガスが発生してしまいます。

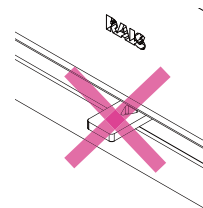


これは、熾きが少なすぎる状態で足してしまった写真です。空気の流れが悪いので空気不足のため、煙が発生しています。



煙の充満は避けましょう。排出ガスが爆発する危険があります。

もし煙が充満してしまったときは、ダンパーを開き、再度点火作業をやり直してください。



## ■ 掃除と手入れ

掃除やお手入れは、ストーブが冷えているときに行ってください。

薪ストーブは、毎夏、業者に頼んで掃除をしてもらおうと、安心して冬のストーブの季節を迎えられます。そのとき、グレート、耐火レンガ、バッフル、ガasketの状態についても、見てもらってください。煙突や煙道は少なくとも年に一度は掃除してもらってください。

### 塗料の仕上げ

ストーブの外側には耐熱ペイントが塗装されています。このコーティングは、数年間保ちます。濡れた布や洗剤で表面を掃除しないでください。錆や脱色の原因になります。ストーブが冷えているとき、やわらかなブラシや起毛した布でほこりを払ってください。再塗装は、必要なときにだけ行ってください。

### ガラス

ほとんどの薪ストーブは、セラミックガラスを使っています。高熱に強いのですが、外観を保つには掃除が欠かせません。すすや不透明なシミは、できたてであれば簡単におとせます。しかし、長期間汚れたままにしていると、薪から出る酸がガラス表面に汚れをつけてしまいます。濡れた(乾燥していない)薪、廃材、ペレット薪は焚かないでください。掃除は必ずストーブが冷えているときに行ってください。タールや煤がこびり付いてしまったときは、ストーブ専用のガラスクリーナーを使ってください。それ以外は、濡れた布でふきとり、それから乾いた布で拭き取ります。ガラスは、必ずきれいな布で拭いてから乾かしてください。部分的な大きなシミや着霜などしつこいシミは、汚れていない布を濡らして灰を付け、こすってみてください。

## ■ 燃焼室の掃除

灰はシャベルですくって出し、燃えない容器に入れ、冷まします。冷めた灰は、袋に入れ、家庭ゴミとして捨ててください。

### 忘れないでください!

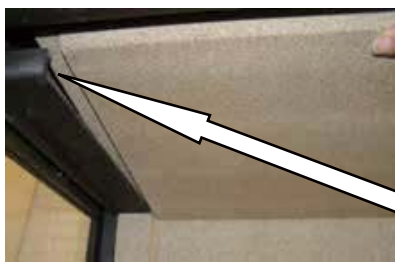
灰を掃除するときは、燃焼室から灰を全部出してしまってもはいけません。薪は、灰が2cmぐらい積もっているとき、最も良く燃えるからです。

## 長期的にストーブを焚かなかった場合

長期的にストーブを使わなかった場合は、隔々まで掃除をして、灰や燃え残った燃料を取り除いてください。固体化とそれによる損傷を減らすためには、ストーブの中に空気が流れなければならないので、エアコントロールは全開にしてください。

ストーブを焚くシーズンが始まる前に、煙突が詰まっていないかどうか、チェックしてください。

## 火室内の掃除



一方の側に押し上げてバッフル板を取り外します。  
静かに燃焼室に向かって反対側を傾けます。

静かにバッフル板を取り出します。

汚れやほこりを取り外し、逆の順序で置きます。



バッフル板がしっかりと密着しているか注意してください。

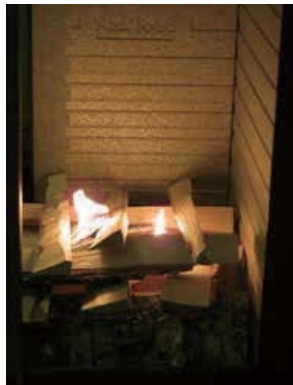


両手でつかみ、溝にはまっているか確認しながら、静かに所定の位置にバッフル板を置きます。





1



2



3



4



5



6

RAIS A/S  
 Industrivej 20  
 DK-9900 Frederikshavn  
 www.rais.dk

**RAIS**<sup>®</sup>  
 ART OF FIRE

#### Svanemærkekravene: Version 3

Virkningsgrad : Min. 75 %  
 Partikler : Max. 4 g/kg træ  
 Kulilte CO : Max. 0,136 %  
 OGC : Max. 120 mg/m<sup>3</sup>

Alle kriterierne skal være opfyldt på en gang.

#### Svanemerkekravene:

Virkningsgrad : Min. 75 %  
 Partikler : Max. 4 g/kg tre  
 Kulilte CO : Max. 0,136 %  
 OGC : Max. 120 mg/m<sup>3</sup>

Alle kriterierne skal være opfyldt samtidig.

#### Kraven för att få Svanmärket:

Verkningsgrad : Minst 75 %  
 Partiklar : Högst 4 g/kg ved  
 Kulilte CO : Högst 0,136 %  
 OGC : Högst 120 mg/m<sup>3</sup>

Alla kriterierna måste uppfyllas samtidigt.

#### Joutsenmerkin saamisen edellytykset:

Hyötysuhde : Vähintään 75 %  
 Hiukkaspäästöt : Enintään 4 g puukiloa  
 kohden  
 Häkää (CO) : Enintään 0,136 %  
 OGC : Enintään 120 mg/m<sup>3</sup>

Kaikkien ehtojen on täyttyttävä samanaikaisesti.

THE ORIGINAL




RAIS日本総代理店

**ダッチウエストジャパン株式会社**

／本社・帯広ショールーム

〒080-0010 北海道帯広市大通南28丁目4

TEL.0155-24-6085 FAX.0155-26-0506

 **0120-700-027** 10:00-17:00  
(平日および第1・3・5土曜)

 [info@dutchwest.co.jp](mailto:info@dutchwest.co.jp)